

報道関係各位

ミズノワークアパレル 佐賀県嬉野市公式ウェアに採用決定

令和元年8月21日配信

九州の自治体では初

ミズノ株式会社が展開しているワークアパレルを嬉野市の公式ワークアパレル(作業着)に採用することに決定しました。ミズノ株式会社製品の公式ワークアパレルへの採用は、九州の自治体としては初めてで、今後順次導入していきます。(全職員分にあたる約200セットを予定)



今回納入するワークアパレルは、動きやすさを追求したミズノ独自のウェア設計『ダイナモーションフィット』や汗処理に優れた素材『ドライサイエンス』など働く環境で求められる機能性を追求したワークジャケットとパンツです。

嬉野市が、様々な市民サービスを提供する職員の働き方をより良くするため、公式ワークアパレルの安全性・快適性の向上を検討する中で、2018年7月12日にミズノと締結した連携協力協定を活用し、実現しました。

村上大祐 嬉野市長コメント

「多発する自然災害への対応、当市の基幹産業である農林業振興、スポーツのまちづくりなど、自治体職員、そして私自身も、一歩でも前で現場の声を聴く重要性が増してきています。ミズノ社の機能性を追求したワークアパレルは、そうした現場に出向き、活発に動き回ることをサポートしてくれます。この公式ワークアパレルの採用で、価値の高い市民サービスを提供できるよう努力してまいります。」



導入品について



■「ワークジャケット」(品番:C2JE818214)

■「ワークパンツ」(品番:C2JF818214)

動的機能裁断・機能素材選定など、ミズノ独自のウエア設計を採用し、ワークジャケットは肩甲骨周りの運動時の動きやすさを、ワークパンツはかがむ作業などの動きやすさを追求しています。また、襟元、脇、股ぐりに消臭テープを使用することで、汗などの気になるにおいを軽減します。生地は軽量性と通気性に優れた素材を使用しており、【JIS T8118静電気帯電防止作業服】にも適合しております。

ワークアパレル市場について

近年の企業活動においては、従業員等の健康管理を経営的な視点で捉え、戦略的に実施する“健康経営”に取り組む企業が増えており、従業員のユニフォームにも福利厚生観点から安全性・快適性を重視する考えが広がっています。近年この市場では、価格競争から脱却し付加価値を高めた商品展開が受け入れられる傾向にあります。

<お問い合わせ>
嬉野市役所 広報・広聴課
担当 中島 隆二(広報・広聴G)
TEL0954-66-9115